




各 位

2026年4月23日

会社名  日本タングステプ株式会社
 代表者名 取締役社長 中原 賢治
 (コード番号 6998 東証スタンダード市場、福証)
 問合せ先 取締役常務執行役員 原口 寿
 経営管理本部長
 (TEL 092-415-5500)

固定資産の減損損失の計上ならびに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年3月期第4四半期連結会計期間において、一部の固定資産について減損損失を計上する見込みとなりました。あわせて、2025年5月14日に公表いたしました2026年3月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 固定資産の減損損失計上について

機械部品事業の産業用機器・部品市場において、将来の市場拡大が期待される自動車部品用の強化プラスチック需要や二次電池の需要に向けて、その部材の製造に用いられる二軸混練押出機用の超硬合金部品の製品展開および量産化に注力しております。しかしながら昨今、勢いを欠くEV需要の影響等により、需要が当初の見込みから後ろ倒しで推移していること、また、原材料価格の急騰により、一部の製品においてコスト上昇による需要の減少が見込まれること等から、当該資産に係る事業収益が当初の想定を下回り、将来の回収可能性を慎重に検討した結果、2026年3月期第4四半期連結会計期間において、当社が保有する機械部品事業の産業用機器・部品市場における固定資産（機械設備等）の帳簿価格約8億円を特別損失（減損損失）として計上する見込みです。

2. 2026年3月期通期連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,800	700	960	700	144.33
今回修正予想 (B)	12,800	710	1,130	270	55.67
増減額 (B - A)	—	10	170	△430	
増減率 (%)	—	1.4	17.7	△61.4	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	12,392	689	952	676	139.58

3. 2026年3月期通期個別業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	11,600	880	680	140.21
今回修正予想（B）	11,630	940	160	32.99
増減額（B－A）	30	60	△520	
増減率（%）	0.3	6.8	△76.5	
（ご参考）前期実績 （2025年3月期）	11,238	877	661	136.51

4. 修正の理由

個別業績では、売上高はほぼ当初予想どおりとなる見込みです。利益面においては、原材料価格高騰によるコスト上昇の影響や産業用機器・部品市場（機械部品事業）が低調に推移する中で、注力商品の販売が好調であったことや、一部の商品で価格転嫁が進んだこと等により、経常利益は当初予想を上回る見込みです。しかしながら、固定資産の減損損失を計上する見込みであることから、当期純利益は当初予想を下回る見込みです。

連結業績では、売上高は当初予想どおりとなる見込みです。利益面においては、営業利益及び経常利益は、個別業績が堅調に推移し営業外損益も良化したことから当初予想を上回る見込みです。しかしながら、固定資産の減損損失を計上する見込みであることから、親会社株主に帰属する当期純利益は当初予想を下回る見込みです。

上記により、2025年5月14日に公表いたしました2026年3月期の連結および個別通期業績予想を修正させていただきます。なお、2026年3月期の期末配当金予想につきましては、変更ありません。

今後、二軸混練押出機用の超硬合金部品については、原材料をより少なくした製品開発に取り組むとともに、超硬合金以外の材料を使用した製品の開発を加速してまいります。

※上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上